

新規事業採択時評価結果(令和7年度新規事業化箇所)

担 当 課： 道路局 環境安全・防災課
担当課長名： 水野 宏治

事業の概要

都府県境道路		事業区分	地方道	事業主体	千葉県・茨城県
事業名	主要地方道 野田牛久線 都市軸道路利根川橋梁(仮称)				
起終点	自:千葉県柏市小青田 至:茨城県守谷市大柏			延長	3.5km
事業概要					
都市軸道路は、埼玉県三郷市から千葉県を經由し、茨城県つくば市を結び、つくばエクスプレス(TX)と連動して、未来志向のまちづくりの基盤となり、埼玉・千葉・茨城3県連携の軸となる広域的な幹線道路である。 このうち本事業は、都市軸道路の千葉県柏市と茨城県守谷市の区間において、県境を流れる利根川を渡河する橋梁を整備するものである。 なお、本事業は、千葉県と茨城県との協定事業である。					
事業の目的、必要性					
当該橋梁の整備により、都市軸道路のミッシングリンクとなっている利根川渡河部において、新たな道路ネットワークが形成され、周辺道路の混雑緩和やまちづくりが進められている千葉県柏市と茨城県守谷市をはじめとする地域間の連携強化、災害時の代替路の確保などリダンダンシーの確保による地域の防災機能の向上が期待される。					
全体事業費	約498億円		計画交通量	約22,200台／日	
事業概要図					
					

関係する地方公共団体等の意見

千葉県柏市、流山市、茨城県守谷市、つくばみらい市、つくば市の地元自治体5市で構成する「千葉・茨城 都市軸道路整備促進期成同盟会」より、早期整備の要望を受けている。

学識経験者等の第三者委員会の意見

千葉県県土整備公共事業評価審議会(令和7年1月22日)において、事業着手は妥当であると了承。
茨城県土木部公共事業等評価委員会(令和7年2月6日)において、新規事業化は妥当であると了承。

対応方針(採択理由)

費用便益比が1.4と便益が費用を上回っているとともに、都市計画決定手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
また、当該区間の整備により、交通混雑の緩和、地域産業活動の活性化、災害時等のリダンダンシーの確保、TX 沿線地域の交流・連携強化が期待でき、事業の必要性・効果は高いと判断される。
以上より、本事業は令和7年度新規事業箇所として妥当である。

事業評価結果(総合評価)

事業採択の前提条件
☑便益が費用を上回っている
☑事業実施環境が整っている

費用 便 益 分	B/C		(参考)	EIRR		総費用	292億円	総便益	397億円		感度分析		基準年
		[4%]	1.4		5.5%	〔事業費：290億円 維持管理費：1.4億円 更新費：-億円〕		〔走行時間短縮便益：391億円 走行経費減少便益：5.2億円 交通事故減少便益：1.2億円〕			交通量変動	B/C＝ 1.3～1.5（変動ケース:±10%）	令和6年
	(参考)	[2%]	2.2								事業費変動	B/C＝ 1.2～1.5（変動ケース:±10%）	
		[1%]	2.8								事業期間変動	B/C＝ 1.1～1.7（変動ケース:±20%）	

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。
※B/Cは を対象とした場合の値、()書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果。
※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔 〕内は社会的割引率の値)

事業 の 影 響	評価項目		評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	・交通の転換により、慢性的な渋滞が発生している周辺道路の混雑が緩和。 【交通量の減少が見込まれる周辺の橋梁】 新大利根橋、大利根橋、芽吹大橋、利根川橋(常磐道) 【(主)守谷流山線(新大利根橋)の混雑度】 [現況]1.66 → [整備後]1.31
		事故対策	○	・周辺に交通事故多発交差点が多数存在しており、渋滞緩和による事故減少が期待。
		歩行空間	○	・歩道整備による歩行空間の確保。
	社会全体への影響	住民生活	○	・3次医療機関へのアクセス向上により、救急搬送時間の短縮が図られ、救命率の向上、患者や救急業務の負担が軽減。 【守谷市役所から東京慈恵会医科大学付属病院(3次医療機関)の所要時間】 [現況]26分 → [整備後]14分
		地域経済	○	・利根川渡河部の県境をまたぐ新たな物流ルートの確保により、所要時間の短縮が図られ、物流の効率化、産業活動の活性化を支援。 【もりや工業団地から千葉県方面(柏市役所)の所要時間】 [現況]55分 → [整備後]29分
		災害	◎	・緊急輸送道路である常磐自動車道とのダブルネットワークの構築により、災害時や事故時のリダンダンシーを確保。 ・リダンダンシーの確保により、災害時の避難や救命・復旧活動を支援。
		環境	－	・注目すべき影響はない。
		地域社会	◎	・守谷市や柏市などの拠点都市間のアクセス性向上による交流の促進、連携の強化。 【守谷市役所⇄柏市役所の所要時間】 [現況]41分 → [整備後]29分

事業実施環境
・都市計画決定手続き完了(千葉県側:平成11年3月、茨城県側:平成6年3月)